



10月から各地域で地域懇談会を開催

地域自治区の住民により、地域のあるべき姿として「地域計画」を考えていただきました。そして地域住民の主体的な取り組みを基に、その地域のあるべき姿を実現していくためには、地域住民は何かをしていくのか、行政とどのように協力（協働）していくのか、行政は何をすべきなのか。

より多くの住民の皆さんと話し合い、今後の地域計画や総合計画へ反映させ、地域を中心に良いまちづくりを進めていくため、地域懇談会を開催します。

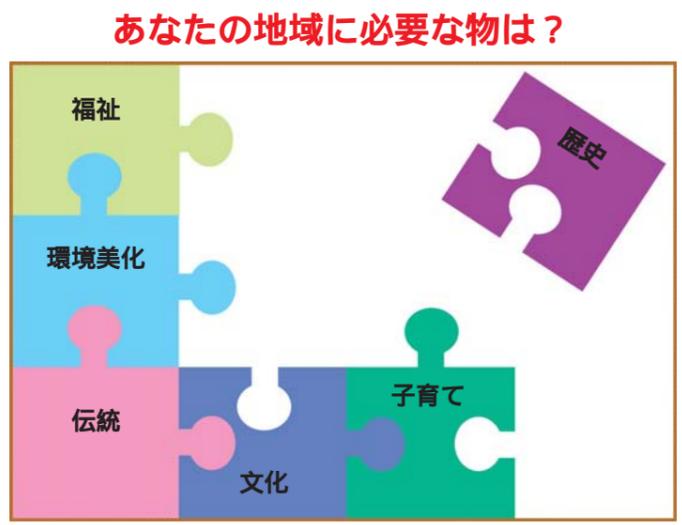
市からは市長以下各部長が参加します。多くの皆さんのご参加をお待ちしています。

各地域懇談会の日程は下表のとおりです。

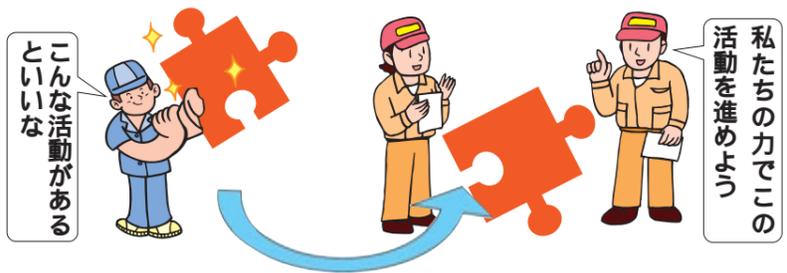
地域協議会名	日 時	場 所
山岡町	10月22日(月) 午後7時～	山岡農村環境改善センターホール
上矢作町	10月24日(水) 午後7時～	上矢作公民館
串原	11月5日(月) 午後7時～	サンホールくしはら
笠置町	11月6日(火) 午後7時～	笠置公民館
明智町	11月7日(水) 午後7時～	明智文化センター
岩村町	11月8日(木) 午後7時～	岩村公民館
三郷町	11月9日(金) 午後7時～	三郷公民館
中野方町	11月12日(月) 午後7時～	中野方公民館
武並町	11月13日(火) 午後7時～	武並コミュニティー
東野	11月14日(水) 午後7時～	東野公民館
飯地町	11月15日(木) 午後7時～	飯地公民館
大井町	11月21日(水) 午後7時～	大井小学校
長島町	12月11日(火) 午後7時～	恵那文化センター集会室

地域づくりにあなたの参加を

特色ある地域づくりには、皆さんの参加がとても重要です。現在、各地域では、自分たちの住んでいる町の課題を考え、さまざまな地域づくり活動が実行されています。その地域の活動や課題の発見を紹介していきます。自分の地域の活動はどんなものがあるのでしょうか。地域に必要な活動を考えてみましょう。



地域づくりは順調に進んでいるかな



大井町

「大井町民会議」を開催 地域みんなで考えるまちづくり

大井町では、地域に根差した全町的なまちづくりに取り組むため、住民の皆さん、自治連、各種団体の連携により新たに「大井町まちづくり協議会」を発足させました。防犯、子育て、歴史文化、防災、健康づくり、福祉の6つの部会を設置し、地域の課題の掘り起こしから、解決に向けた計画作りや取り組みを進めています。

7月31日には、「まちづくりの思いを実現するために」私たちが、地域は、行政は何をすべきか、一緒に考えよう！」として、住民200人余りが参加し、初の「大井町民会議」を開催しました。

会議では、地域計画や各部会の取り組み状況の説明を踏まえ、カードに書いて張り付ける方法で全員によるワークショップを行い、より多くのご意見やご提案をいただくことができました。

現在、この貴重なご意見やご提案を基にして、「地域計画」を見直し、まちづくり計画に生かそうとチームを設置し検討を行っています。

11月には、地域懇談会に合わせ再度「町民会議」を開催し、住民の皆さんのご意見を伺いながら、今後の取り組みを確かなものにしていきたいと考えています。

▶第1回大井町民会議



▶教育子育て部会による放課後ふれあい教室 ～子どもたちの成長を地域みんなで支えあう活動

長島町

「住んでよし、働いてよし」の豊かなまちづくりを目指す

長島町まちづくり委員会では、住民の暮らしを視点に、健康で福祉を充実させ、子どもからお年寄りまで安全で安心して生活ができ、商業、農業などの産業が盛んな「住んでよし、働いてよし」の豊かなまちづくりを目指し、長島町地域づくり計画を策定しました。その実現に向けて次の事業を展開しています。

長島町まちづくり委員会の地域振興事業

- 環境部会
 - ホタルの幼虫育成事業
 - ホタルの保護区づくり事業
 - ホタルの保護区づくり事業
 - カワニナ育成事業
- 健康部会
 - ウォーキングコースづくり事業
 - ウォーキング指導者育成事業
 - ウォーキング推奨イベント事業
 - ウォーキングPR事業
- 安全推進部会
 - 防犯・防災パトロール事業
 - 災害危険地域備蓄庫整備構想事業
 - 情報伝達人材育成事業
 - 防災対策事業
 - 地域福祉計画策定事業



「ホタルのとぶ町長島」を目指して（長島町いっせいクリーン作戦の実施）



「スイレンと西行遺跡をめぐるウォーキング大会」

広報PR部会
まちづくり特派員事業
ホームページ作成、更新事業

三郷町

豊かな自然と文化を愛し、住んで良かったと実感できるまち

みさと振興委員会では、6部会で構成された延べ120人の方が分野で主体的に活動を進めています。三郷町がさらに良くなることを願い、そして住民の皆さんに理解され、支持される活動を目指し、現在、ワークショップ形式による会議を取り入れた検討が始まっています。

「野井の川を美しくする会」

庄内川下流域、野井区自治会、野井区民、車両を提供していただいた企業の方の参加を得て、実施しました。これまでの活動の成果により、ホタルが乱舞する美しい川になりました。（平成19年7月22日実施）



「佐々良木・椋実の川を美しくする会」
発足からの経緯
本年度当初に会員募集を行い、多くの方のご理解を得て組織を立ち上げ、活動を始めました。水辺の環境整備を通し、新しい輪が広がっています。
（平成19年8月26日実施）



「ワークショップ会議」

三郷地域協議会
会議の雰囲気
より良いコミュニケーションの形成を図ることができました。活発な発言と、発言に対する相互理解が行われたことにより、参加者の総意で方向性が検討されました。（平成19年9月4日開催）



東野

自然豊かな世代の調和した元気な東野

東野地域協議会では、「自然豊かな世代の調和した元気な東野」を創造して継承するため、実行組織東野地域振興委員会を設置し、4部会構成で次のような活動を進めています。

- 産業振興部会
 - 生産と販売、交流
 - 農作物を害獣から守る事業
 - 昨年度は、イノシシを捕獲し、クマも入っていました。
 - 地域農産物販売事業
 - 「ふれんどりー阿木川湖」で、東野の野菜と軽食を販売。
 - 昨年度は部会でシイタケ生産を始めました。
- 教育文化部会
 - 学びと伝承
 - 東野マップ作成事業
 - 東野を楽しむマップ作りを検討しています。



歌舞伎施設事業
音響設備と照明施設を充実しました。（昨年度は、地域安全対策事業として、大井町との連携による安全マップ作成と、パトロール用腕章作成を支援）



環境の保全
環境美化部会
シデコブシ等自生植物保護事業
現地調査・間伐・清掃・保護活動
こどもの遊べる川づくり事業
ホタルの飛び環境づくりのため、飯沼川・定蓮寺川にカワニナを放流しました。



武並町

武並町地域協議会活動報告

- 武並町まちづくり町民会議8部会の活動
- 学習部会
 - 文化まつり
 - 文化発表会の開催
 - 郷土の史跡写真集「観音堂若林庵」の発行
- 交流部会
 - ホタルの里調査
 - ふれあいウォークの開催
 - ウォーキングマップの準備
 - 夏まつりの開催（今年は恵那スケート場で開催し1500人を超える参加者がありました）
- 健康部会
 - マレットゴルフ場の維持管理
 - マレットゴルフ大会の運営
 - 小学校と協働による小学校の花壇用堆肥作り
- 奉仕部会
 - ふれあいオアシス花壇用花作り
 - スケート場花壇花植え
 - 花壇まつり（青少年育成会議と協働）
- 広報部会
 - 青少年育成会議と協働による「広報たけなみ」の発行（本年度

パソコンがそろい、パソコン教室を始める・昨年度から準備していたホームページを公開

福祉部会

おしゃべり会の開催
独居老人への食事サービス（本年度放課後の読み聞かせを始める）

環境部会

不法投棄監視パトロールの実施（本年度は不法投棄の処理）
防犯パトロールの実施

食農部会

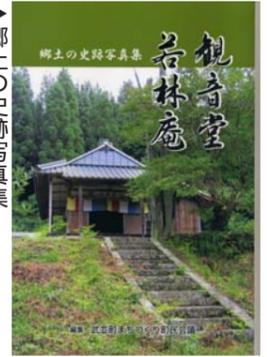
地域が自立するための収入源

スケート場

ふれあい販売所での販売（本年度はふれあい会館（旧公民館）で毎週土曜日に直売所開催）



ふれあい直販所



郷土の史跡写真集

笠置町

子どもからお年寄りまで、町内みんなでクリーン作戦

笠置町活性化委員会では、昨年度3部会で行っていた活動に、安全安心部会・地域文化スポーツ部会の2部会を増設し、取り組む事業も7事業から11事業に増やして行っています。

主な事業
高齢者の健康づくり事業（回想法の実施）
特産品作りと加工・保存施設の設置事業（ユズ・ホオノキ）
防犯灯適正設置事業（青色防犯灯設置）
道と水辺の美化事業（町内一斉クリーン作戦）

今回は、町内一斉クリーン作戦の実施状況などについて紹介します。笠置町内の県道・市道・農道など生活道路に捨てられているごみを、住民みんな（子どもからお年寄りまで）で片付けようと、昨年12月に第1回目の「家族で町内一斉クリーン作戦！」を開催しました。
総勢約700人が参加し、可燃ごみ・不燃ごみなど合わせて、軽トラック10杯分のごみが集まりました。



町内一斉クリーン作戦



不法投棄防止用の鳥居

本年度は6月に第2回目を開催しました。年に2回クリーン作戦を実施していく予定です。
また不法投棄の防止に効果があるとして「鳥居」を作り、町内の不法投棄が多い場所に設置しました。

飯地町

文化や観光資源を生かした事業を展開

飯地町まちづくり委員会では、産業部会・文化部会・健康福祉部会の3部会で活動しており、文化や観光資源、地域の安心安全を守るための事業が展開されています。

主な事業
飯地町福祉エリア創設事業
宅老所まんさくを利用した高齢者介護予防事業
自然博物館整備事業
案内板整備事業
観光マップ作成事業
特産品PR事業

地歌舞伎の保存伝承事業
子供歌舞伎の伝承や平瀬瀧の環境整備、福祉環境整備などは、継続して取り組めるよう検討しています。



▶子供歌舞伎



平瀬瀧

また若者活性化のため、若者自らがイベントを企画しています。春には飯地町出身者がポーカーを務めるバンド「オトループ」を招き、歌舞伎小屋「五毛座」でライブを、夏には箏と尺八の音色が夜空を彩る「ほたる祭り」を開催しました。

企画することの大変さと確かな手応えを同時に感じられ、メンバーからは「イベント当日までの過程が大切なのだ」という声が上がりました。
現在は、冬に向けた企画を考えられています。



▶オトループと地元の方皆さん

中野方町

棚田をキーワードにしたまちづくりを展開

中野方まちづくり委員会の棚田里山部会は、「棚田」をキーワードに、さまざまなまちづくり活動の取り組みを進めています。

主な活動
棚田オーナー制度
坂折棚田石積み塾の開催
棚田純米酒や棚田米など棚田ブランドの開発と販売
棚田コンサートや収穫祭
棚田案内ボランティア育成講座
坂折棚田フォトコンテスト
学生による田植え体験学習
広報紙「棚田通信」の発行
棚田オーナー制度では、年間3万円〜1区画100平方メートルの田んぼのオーナーになってもらい、田植え、草取り、稲刈りなどの農作業を、地元の農家の方々と一緒に体験していただいています。本年度は盛況で31組（86人）の皆さんにオーナーとなっていただきました。オーナーのほとんどが名古屋市の都市部出身者で、農作業は初めてという方が多いです。オーナーには、収穫された棚田米30kgと、地元で取れた旬の野菜を

プレゼントしています。
また坂折棚田石積み塾では、塾生が石積み名人から、その工法を学び、実際に石積み体験します。
この事業は、単に石積みを学ぶだけでなく体験することで、失われつつある石積み技術と景観を後世へ残すという目的があります。
現在、今後拡大するこれらの活動が継続できるよう、人材の育成と事業費の確保という課題を解決し、組織として自立できる体制を確立するため、現在NPO法人（特定非営利活動法人）の設立を準備しています。
またこの地域には、棚田のみならず、笠置山周辺観光コースや不動滝、ベトログラフなどの観光資源があり、これらを活用した新たな魅力づくりのために、各種団体との「協働」によるさまざまな活動をはじめ、民族資料館の設立や石垣公園の整備などにも積極的に取り組んでいきたいと考えています。



▶石積み塾の様子

岩村町

「日本100名城」と「美しい日本の歴史的風土100選」

日本三大山城の1つである「岩村城」が昨年4月（財）日本城郭協会による「日本100名城」に選定され、さらに今年3月「城下町岩村の町並み」が古都保存財団の「美しい日本の歴史的風土100選」に選ばれました。

岩村町まちづくり実行組織『城下町ホットいわむら』は、この素晴らしい歴史的財産を地域の誇りとし、未永く愛し守っていくよう地域一体となってイベント、観光PRだけでなく、歴史・文化の研究、産業振興や教育、福祉など住民にかかわるあらゆることに取り組んでいます。



岩村城



岩村城跡整備作業の様子

主な事業
岩村城跡の整備・清掃作業
地域福祉支援事業
『下田歌子』顕彰事業 マンガ本の発行（1冊500円で販売中）
農村景観日本一展望台の周辺整備
いわむら城下町のひなまつり（2/4月開催予定）
郷土料理・文化伝承事業
観光パンフレットの作成
歴史掘りおこし事業 鴨長明、百年前の町並み、大船講、岩村電車の勉強会（10月）
「城下町ホットいわむら」たよりの発行（毎月1回）
エコバッグ製作
1個600円で好評販売中
ホームページ
<http://www.hot-iwamura.com>

山岡町

三世交代のまちづくり

山岡地域づくり事業では、地域全体で介護予防、明るいまちづくりの支えにつなげるため、10月14日(日)午前9時から親子フェスタ・ふれあい広場合同イベントを実施します。三世交代の交流の場となるよう計画を進めています。

主な事業

- 市の花「ささゆりの里」づくり事業
 - ふれあいウォーク事業
 - フラワータウン(花いっぱい)事業
 - ふれあい広場事業
 - 親子フェスタ事業
 - 恵那市登り窯フェア事業
 - 防犯パトロール事業
- また山岡町の三大産業の一つである陶土の振興策として建設された登り窯を利用し、陶器の魅力を感じてもらうことで、産業振興と観光の拠点となるよう、10月19日(金)から21日(日)に登り窯フェアを開催します。
- 10月21日(日)午前10時半からお茶会、護摩木祈願、風船教室、竹細工教室、豚汁、松茸ご飯(無料)などのイベントを実施します。ご家族そ

ろってご参加ください。
同時に窯たきのボランティアも募集中です。



登り窯フェアの様子



親子フェスタの様子



防犯パトロールの様子

明智町

明智地域づくり・まちづくりフォーラム各分会において活動

平成17年度に明智地域自治区域協議会が立ち上がり、平成18年9月には実行組織として明智地域づくり・まちづくりフォーラムが発足して活動しています。

本年度は、「笑顔、幸せ、元気いっぱい暮らせる大正口マンあふれる交流のまち。緑豊かな自然環境の中で、子供からお年寄りまで、暮らす人みんなが健康で心豊かに過ごせるまち、安心して楽しく生活できる快適なまち、活力あふれる元気なまちを創造し、日本大正村へ気楽に來村できる交流のまち」をキャッチフレーズとして、各分会で活動しています。

主な取り組み

- 大正村部会
- 大正100年祭支援事業
- 町内一斉清掃事業
- 健康スポーツ部会
- 健康づくり知識習得意識活動事業
- 健康体操指導者育成事業
- 地域活性化部会
- 下宿支援事業
- 下田良子モデル自治区活性化事業

業

- 自然環境部会
- 下ヶ淵整備事業
- 団子杉整備事業
- 福祉部会
- 通学安全対策事業
- 乳幼児教育充実事業
- 自主防災部会
- 自主防災組織との連携協力事業



観劇会「おとうさんはウルトラマン」



明智町おそうじ大作戦

串原

地域の人が元気で活発に安心して暮せるまちを目指す

串原の地域づくり基金事業は、前半は都市住民との交流を目的とした事業を中心に実施しました。後半は、地域にとって将来に向け必要であり、地域の中で継続できる生活環境、住民の健康に密着した内容を重点に事業を計画していきたいと思

います。そして、高齢化の進む串原に多くの方々が訪れ、地域の住民が元気で活発に安全・安心して生活できる地域を目指し、活動できればと考えています。

本年度の継続事業

- ささゆりの里全国歌合戦
 - ウォーキング大会
 - 料理コンクール
 - 中山太鼓PR事業
- ### 新規事業
- ほたる祭り
 - ささゆりの里健康づくり事業
 - さんさん街道整備事業



ささゆり



ささゆりの里全国歌合戦



料理コンクール



ウォーキングコースの整備

上矢作町

住民が誇りと愛着を持てるまちづくり

上矢作町まちづくり委員会では、長年にわたり先人が守り培ってきた歴史や文化、伝統、自然など貴重な資源を生かしながら、住民が誇りと愛着を持てるまちづくりを目指し、「住民福祉部会」、「地域整備部会」、「教育文化部会」の3部会を組織し、それぞれまちづくり活動を展開しています。

主な事業の紹介

- 住民福祉部会
 - 配食活動事業
 - 食育活動事業
 - 地域福祉活動事業
- 地域整備部会
 - 観光施設周辺環境美化事業
 - 主要道路河川環境美化事業
 - 風力発電施設周辺整備事業
- 教育文化部会
 - 伝承芸能保護活動事業
 - 文化財等保護活動事業
 - 地域ぐるみ子育て事業
 - 教育文化部会の文化財保護部会では、町内の天然記念物、文化財や史跡などの実態調査とともに、その保護活動に力を入れており、「地域の文化財は地域で守ろう」と

環境整備ボランティア作業などを実施しています。松並木環境整備活動を重点に置き、歩道の水切作業や枯死木の状況調査を行いました。松並木保護保存活動を進める上で、安全管理の問題が、新たな緊急課題となりました。より多くの方に散策していただきたい松並木ですが、安心して歩いて見たい松並木ですが、できない今の危険な状況に困惑しており、早急にこの危険な状況を取り除くよう、各方面に働きかけていきます。

今後もし引き続き保護活動を実施していきますので、ご支援、ご協力をお願いします。



松並木整備作業



河川環境美化活動

昨年到现在続いて満足度80% 窓口アンケートの結果

市行財政改革行動計画（平成18年度 22年度）における市民サービスの目標では、アンケートによる来庁者の満足度80%を指すことと、これまで接遇インストラクター研修をはじめ、職員の意識改革に努めてきました。

今回は、昨年が続いて8月1日から15日までの実質11日間、お越しいただいた市民の皆さんにご協力願ひ、窓口サービスのアンケート調査を実施しました。なお昨年のデータと比較できるように、アンケートの実施時期、期間および設問項目については昨年と同様とし、次のような結果が得られました。アンケートの回答総数は、868人（男性385人・女性469人・未記入が14人）。

設問6「窓口満足度」については、70・7割の方に5点（満足）をいただき、昨年の68・5割と比較すると2・2ポイント増となっています。また5点満足、4点（やや満足）の割合を合計すると89・4割となり、昨年の89・9割に比べ、ほぼ横ばいの結果でした。

これは、行財政改革行動計画で定めた、アンケートによる来庁者満足度80%という目標値を上回ってはいますが、引き続き接遇研修などを行って、さらなる改善を行うことが必要です。なお、そのほかの項目でも昨年の実績をわずかではあります。が、上回った結果が得られました。

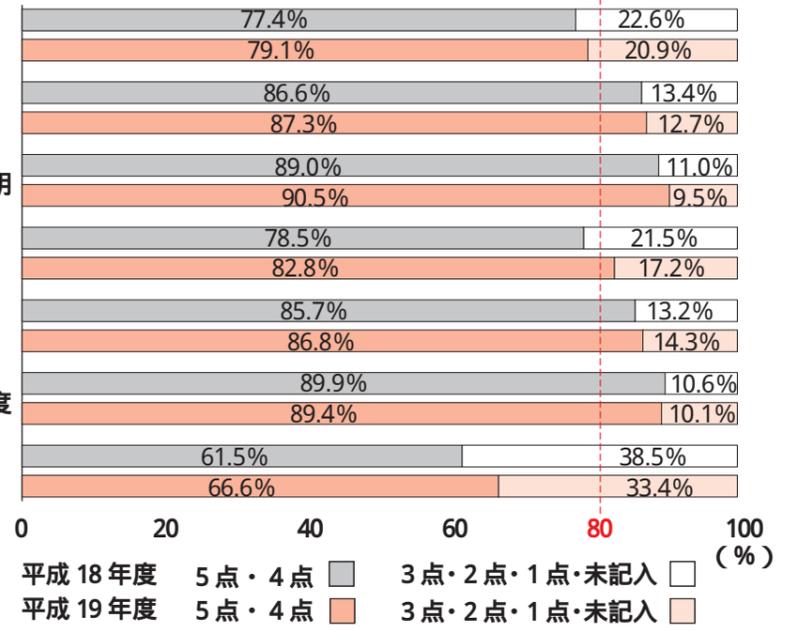
案内表示
79・1割の方に「おむね満足」をいただき、昨年に比べ1・7ポイント増となっています。これは昨年度実施した庁舎の大規模改修に伴って、案内表示板などを分かりやすくした結果だと分析しています。

あいさつ
87・3割の方に「ほぼ満足」をいただいています。これは昨年度の86・6割に対して0・7ポイント増となっています。自由意見では「あいさつが気持ち良かった」という一方で、「あいさつに元気がない」などの意見をいただいています。
今後皆さんが親しみをもち、元氣なあいさつを心掛けていきます。

対応・説明
90・5割の方に「おむね満足」をいただき、昨年度に比べ1・5ポイント増となっています。昨年同様1・6割の方にはまだまだ不満と感じられており、あいさつ同様窓口サービス全般について改善し、さらなる満足いただける職員の意識改革を実施してまいります。

申請書
「満足」「やや満足」と回答いただいた方は82・8割と昨年に比べ4・3ポイント増となっています。自由意見では「記入要領が分かりにくい」などの意見をいただいています。文字の大きさ・記入内容などを点検して、引き続き分かりやすい申請書となるよう改善が必要です。

所要時間
86・8割の方に「おむね満足」をいただいています。これは昨年度の85・7割に対して1・1ポイント増となっています。一方では昨年同様1・7割の方にはまだまだ不満と感じられており、今後も引き続き確実な業務の遂行を念頭に簡素化できる部分の改善が必要です。



窓口の満足度

89・4割の方に「ほぼ満足」をいただいているものの、1・4割の方には、まだまだ不満と感じられており、引き続き、窓口サービス全般について改善し、さらに満足いただける職員の意識改革を実施していきます。

窓口時間
「満足」「やや満足」と回答いただいた方は66・6割と昨年に比べ5・1ポイント増となっています。これは、昨年の10月から行っている市民課窓口での延長サービスの結果であると分析しています。しかし、まだ多くの方から6時ごろまでの窓口時間の延長を望まれる意見があり、市民の皆さんに平日の窓口時間の延長サービスが十分周知されていないことが浮き彫りになりました。

問い合わせ 企画部企画課
行財政改革推進係（内線332）

窓口アンケートの結果

項目	設問の内容	満足 ← どちらともいえない → 不満					未記入
		5点	4点	3点	2点	1点	
1 案内表示	目的の場所の案内や表示はわかりましたか	471人 54.3%	215人 24.8%	140人 16.1%	13人 1.5%	4人 0.4%	25人 2.9%
2 あいさつ	職員のアいさつはわかりましたか	560人 64.5%	198人 22.8%	92人 10.6%	8人 0.9%	5人 0.6%	5人 0.6%
3 対応・説明	職員の対応や説明の仕方はわかりましたか	610人 70.3%	175人 20.2%	60人 6.9%	9人 1.0%	5人 0.6%	9人 1.0%
4 申請書	申請書は分かりやすかったですか	470人 61.0%	168人 21.8%	112人 14.5%	16人 2.1%	5人 0.6%	0人 0.0%
5 所要時間	用件にかかった時間はわかりましたか	571人 65.8%	182人 21.0%	84人 9.7%	9人 1.0%	6人 0.7%	16人 1.8%
6 窓口満足度	本日の窓口サービスには満足できましたか	614人 70.7%	162人 18.7%	67人 7.7%	6人 0.7%	6人 0.7%	13人 1.5%
7 窓口時間	市役所窓口の開いている時間はわかりましたか	420人 48.4%	158人 18.2%	176人 20.3%	39人 4.5%	46人 5.3%	29人 3.3%

午後6時まで延長しています 市民課住民係の窓口

昨年の10月から市民課住民係で本来の窓口サービスの終了時刻（午後5時15分）を45分間延長して、午後6時まで業務を行っています。また土・日曜日、祝日は一部の業務に限って恵那文化センターの窓口で、業務を行っています。皆さんぜひご利用下さい。

市民課住民係の窓口延長
実施日 平日の月曜日から金曜日
延長時間 午後5時15分 6時
実施場所 市民課住民係
延長の対象となる窓口業務
住民票の証明発行
戸籍の証明発行
印鑑証明の発行
印鑑登録

恵那文化センターの窓口
実施日 土・日曜日、祝日（ただし、休館日は対象外）
業務時間 午前9時 午後5時
業務の対象となる窓口業務
住民票の証明発行（ただし、住民票上同一の世帯の方のみ）
印鑑証明の発行

問い合わせ 市民福祉部市民課住民係（内線141・142）

日曜リサイクル広場で回収する品目一覧（ ～ に分別して回収します）

品目	持ち込むときのポイント	
紙類	新聞・ちらし	ビニールひも・ガムテープは取り外してください。（紙ひもは可）
	雑誌・雑がみ	写真、カーボン紙（宅配便の伝票など）、感熱紙、和紙、洗剤の空き箱、防水加工された紙（紙コップ、アイスクリームの容器など）圧着はがきなどを混入させないでください。ごみ百科事典 17～18頁を参照
	段ボール	「飲料紙パック」は マークが付いているものが対象です。 マークが付いている紙製容器は対象になりません。水洗いをし、切り開いて持ち込んでください。
	飲料紙パック	
古着	そでを切ったり、ボタン・ファスナーを取り外したりせずに、ぬらさないようにして持ち込んでください。皮革製品、毛布、タオル、ぬいぐるみ、軍手、ぞうきん、靴下、汚れた衣類などは持ち込めません。ごみ百科事典 16頁を参照	
飲料缶	アルミ缶	飲料用のみ回収します。中を水洗いして出してください。
	スチール缶	飲料用のみ回収します。中を水洗いして出してください。
瓶類	生き瓶	自治会などのステーションに出すときと同じように分けて持ち込んでください。ごみ百科事典 11頁を参照
	白瓶	
	茶瓶	
	その他瓶	
プラスチック類	ペットボトル	中を水洗いし、キャップとラベルは取り外してください。（キャップは、ラベルはへ）
	プラ製ボトル容器	シャンプー、リンス、洗剤のプラ製容器。中を水洗いし、キャップは外してください。（キャップは、ポンプ式ノズルの部分は不燃ごみへ）
	プラ製キャップ	ペットボトル、麺つゆ、ドレッシング、洗剤などのプラ製キャップ。
	ペットボトルのラベル	で取り外したペットボトルのラベルを回収します。
	透明のプラ製容器	卵パック、イチゴパック、惣菜パックのふたなど。値札シールはできるだけ取り除いてください。
	色付きの食品用プラ製容器	豆腐パック、ヨーグルト容器、クッキーの仕切りトレイなど。発泡トレイは受け取れません。
	プラ製袋・レジ袋	個包装された食品の外袋（ケチャップの袋、キャンディーの外袋など）、スーパー・コンビニのレジ袋。
	CD・DVD	対象はディスク本体のみ。
食用廃油	廃油入れに使った容器は持ち帰ってください。	

資源として回収しますので、汚れたものは受け取れません。清潔な状態で持ち込んでください。また、お持ちいただいた物によっては受け取れない場合があります。ご了承ください。

集団資源回収が行われる地域は、できるだけ集団資源回収への協力をお願いします



毎月第3日曜日
市役所前駐車場

「日曜リサイクル広場」がスタート

市民による「ごみの減量化実験」

資源の有効利用とごみの減量化を目指した実証実験、「日曜リサイクル広場」が開設されます。

広場の開催は、毎月第3日曜日。ここでは紙類や衣類をはじめ、プラスチック製容器など、リサイクル可能な資源ごみを持ち込むことができます。
問い合わせ 市民エゴ会議 25 5362（長谷川）、環境課 26 2111（内線186）

私たちが日ごろ、ごみとして廃棄している物の中には、分別すればリサイクルできる物がたくさん含まれています。瓶やアルミ缶、ペットボトルは、自治会などのステーションで回収されていますが、新聞、雑誌、段ボールなど古紙の回収は、PTAや子ども会の活動に支えられてきました。しかし、近年はその回収量が減少傾向にあり、旧市地域に限るとこの5年間で約200トンの減少しています。

また市民の皆さんからは「家の中に新聞や雑誌がたまっているが、出す方法がなくて困る」「休日に持ち込める場所がほしい」などの意見も寄せられるようになりました。

古紙などリサイクル可能な物がうまく回収されないと、「ごみ」として

排出されてしまいます。そこで、こうした課題に対応し、より一層のごみの減量化を図るため、環境問題に取り組む市民グループ「市民エゴ会議」を中心に、行政と企業が一緒になって取り組む資源ごみの拠点回収事業、「日曜リサイクル広場」を試行的に開催します。

日曜リサイクル広場

- 場所 市役所前駐車場
- 開催日 毎月第3日曜日（当日、悪天候の場合は中止となります）
- 時間 午前9時～11時
- 回収品目 13頁を参照

市外の方や事業所から持ち込むことはできません